

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
B - 6	環境課	清掃センター

事務事業名	廃棄物処理事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VII-20-48	ゴミの適正処理・減量化の推進							
	関連施策名 (施策コード)									
事業内容 (経緯)	ごみ処理施設の適正な管理運営に努め、処理体制の充実を図るとともに、ごみ処理施設の延命化を図る事業です。 主な事業費：収集業務委託料81,389千円 施設整備工事費57,900千円									
基本項目	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	ゴミ処理量	搬入されたゴミの量	t	7,818	7,659	7,556	7,304	6,672
		②								
	③									
④										
事業対象	臼杵地域の市民		成果	ごみ処理施設の延命化を図ることにより、各種ごみの適正、安全、安定的な処理が可能となり、市民の生活環境の悪化を防ぎ、公衆衛生の向上、住みよいまちづくり、資源の有効活用、環境負荷の軽減に繋がりました。						
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	廃棄物処理に関する経費	ゴミ収集委託、ゴミ処理施設の維持管理費等	千円	178,249	165,829	180,128	198,870	170,000		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	202,639					592	202,047

評価の視点	評価	判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	日々家庭より排出されるゴミの処理は市民ニーズは確実にあると思われます。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	収集委託、施設維持管理とも適正なゴミ処理をするうえで有効であると思われます。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	適正なゴミ処理ができていると思われます。
事業の問題・課題	目標年度に向け積極的な取り組みは引き続き必要と考えます。		
前年度の改善案	広報誌等を通じて啓発活動を行うことが必要と考えています。		
具体的な改善案	引き続き、広報誌を通じて啓発活動を行いたいと考えています。		

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	ゴミを適正に処理するために、継続する必要があります。
------	---------------	----	----------------------------

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
B - 7	環境課	環境

事務事業名	広域ごみ処理事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VII-20-48	ゴミの適正処理・減量化の推進							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	臼杵地域での可燃ごみ処理を焼却施設のある大分市との協定により竹田市、由布市を含めた4市で広域処理しています。また、野津地域では、一般廃棄物の全てを豊後大野市との協定により処理しています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	可燃ゴミ処理量(臼杵地域)	大分市への可燃ゴミ搬入量	t	9,134	9,187	9,044	9,044	8,496
		②	ゴミ処理量(野津地域)	豊後大野市へのゴミ搬入量	t	1,809	1,663	1,692	1,605	1,578
	③									
	④									
事業対象	市民・事業者	成果	効率的な事業運営により、衛生的で快適な生活を送ることができました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	広域ゴミ処理に係る経費	大分市、豊後大野市の清掃工場運営管理費等	千円	227,816	232,109	246,370	216,825	169,755		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	218,564						218,564

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	衛生的で快適な生活を送るために必要です。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	適正にゴミを処理することで、衛生的で快適な生活を送ることが出来ます。
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	3R(リデュース:減量、リユース:再利用、リサイクル:再資源化)等への意識高揚を促すことでゴミの減量が図られ、経費の削減につながると考えます。	
事業の問題・課題	ゴミを排出する側の分別意識の高揚や理解、協力が不可欠です。また、清掃工場の長寿命化のための大規模改修などにより、ごみの減量化が図られたにも関わらず経費が膨らむ可能性もあります。			
前年度の改善案	3Rや分別意識の高揚を図るため、市報での広報により啓発に努めます。			
具体的な改善案	3Rや分別意識の高揚を図るため、市報での広報により引き続き啓発に努めます。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	ゴミを適正に処理するために、継続する必要があります。
------	---------------	----	----------------------------

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
B - 8	環境課	清掃センター

事務事業名		各種リサイクル事業						新規・継続	継続	
		ソフト・ハード		ソフト						
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	VII-20-48 ゴミの適正処理・減量化の推進								
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	各種リサイクル法に基づき、ごみの減量化とリサイクルを推進しています。各品目ごとにリサイクル業者への委託による処理、再生処理業者への引き渡し、資源として売却等の処理をしています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	資源化量(プラスチック製容器包装・ペットボトル選別圧縮保管)	処理業者引渡量	t	292	263	352	248	306
		②	資源化量(紙類・缶及びその他金属選別圧縮、電気製品・自転車)	資源売却量	t	1,116	1,041	1,014	969	1,197
③	資源化量(ガラス瓶・蛍光灯・乾電池)	資源化処理業者引渡量	t	240	214	224	219	251		
④										
事業対象	臼杵地域の市民	成果	排出されるごみに応じて適正なりサイクル処理の推進を図ることで、資源の循環利用、限りある天然資源の消費抑制、地球温暖化防止等の環境の保全に繋がりました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	資源化率	資源化量/ゴミ搬入量	%	15	14	15	14	16		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	47,956						47,956

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		資源の有効利用や地球環境の保全のために必要です。
		A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		資源の有効利用や地球環境の保全に有効です。
A		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		リサイクルを効率的に進めるためには、ゴミを排出する側の分別意識の高揚や理解、協力が不可欠であり、啓発活動を強化することが必要です。	
	B	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	目標年度に向け積極的な取り組みは引き続き必要と考えます。			
前年度の改善案	広報誌等を通じて啓発活動を行うことが必要と考えています。			
具体的な改善案	引き続き、広報誌を通じて啓発活動を行いたいと考えています。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	資源の有効利用や地球環境の保全を目的とした事業であり、継続して取り組むことが必要です。
------	---------------	----	---

番号	課名	グループ名
B - 9	環境課	環境グループ

事務事業名		環境監視事業						新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ソフト	
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	VII-20-48	ゴミの適正処理・減量化の推進							
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	一般廃棄物処理場周辺及び工場等の民間施設周辺の河川及び下流域民家の井戸並びに地下水を測定し、その実態を把握することにより、適正な施設運営のための資料とするとともに、下流域住民の不安を取り除くことを目的としています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	検査結果報告	地域住民に対して、検査結果の報告を毎月1回行う。	回	12	12	12	12	12
		②								
	③									
④										
事業対象	下流域住民	成果	水質検査を行うことにより、下流域住民の安心安全な環境を守ることができました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	異常個所数	調査個所のうち、異常(水質汚濁防止法に定める規制項目が法令上の基準値を超えること)がみられた個所数	件	0	0	0	0	0		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	7,165						7,165

評価の視点	評価		判断基準			理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない			地域住民のニーズもあり、また検査結果を公表していくことで、関係施設運営への理解と協力も得られたと考えます。
		A				
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない			検査結果の報告を毎月1回地域住民に対して行うことで、不安感などを早めに解消し、安心安全な暮らしを守っていくことができたと考えます。
A						
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない			水質検査の結果を報告公表していくことで、不燃物処理センターや一般廃棄物処理場のスムーズな運営に貢献できたと考えます。	
	A					
事業の問題・課題	水質検査の検査項目は専門的な用語が多いため、地域住民が十分な理解を得られない可能性があります。					
前年度の改善案	水質検査場所で地区井戸を新たに1個所追加しました。					
具体的な改善案	地域住民に報告公表する際には用語の説明など、わかりやすい報告書にしていく必要があります。					

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	公共用水域の水質保全及び自然環境・生活環境の保全のための検査であり、継続する必要があります。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
B - 10	環境課	環境

事務事業名		環境美化活動支援事業						新規・継続		
								ソフト・ハード		
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	VII-20-48	ゴミの適正処理・減量化の推進							
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	ボランティアでごみ拾いする団体を対象にごみ袋を無償で配布し、回収されたごみの収集を行っています。また、自治会等からの申請を受け「ポイ捨て禁止・不法投棄防止」等の看板を無償で交付しています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	ボランティア袋配布枚数	ボランティア袋配布枚数	枚	8,300	9,440	10,890	10,730	10,000
		②	クリーンサポーターバック配布枚数(28年度より実施)	クリーンサポーターバック配布枚数	枚	-	-	-	650	650
③	啓発看板配布数	ポイ捨て禁止等啓発看板配布枚数	枚	32	47	83	56	35		
④										
事業対象	市民・自治会・事業者等	成果	環境美化活動団体が増えて、継続されることで、ポイ捨て防止や美化意識の向上が図られ、より暮らしやすい環境が維持できました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	ボランティア清掃実施団体数	ボランティア清掃を実施している団体数(延べ数)	団体	105	131	164	148	250		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	1,540						1,540

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		美しいまちを持続させるためにも市民の自主的な環境美化清掃活動は必要不可欠で、行政はその継続・活性化を支援する必要があると考えます。
		A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		市全体の環境美化につながっていると考えます。
A		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		ボランティア清掃のごみは、主に家庭ごみの収集時にまとめて委託業者が収集しており、効率的に処理が行われています。	
	A	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ない		
事業の問題・課題	ボランティア清掃団体の維持及び環境美化意識の向上。			
前年度の改善案	まちや道路、公共施設等でごみ拾いボランティアを先で取り組むことが出来るよう用具等の支給支援を行うほか、市報掲載による環境美化を啓発します。			
具体的な改善案	28年度よりボランティアで清掃活動を行う方へ市のクリーンサポーターへの登録を促し、登録していただいた方に無料でごみ拾い用バックを支給しています。ごみカレンダーにクリーンサポーター募集を掲載するとともに、引き続き市報による環境美化を啓発します。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	市民主導の美化活動は、美しいまちづくりのため、必要不可欠です。啓発活動、クリーンサポーターへの登録促進及びボランティア袋等の支援は継続していく必要があります。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
B - 11	環境課	環境グループ

事務事業名		臼杵市生ごみ処理容器設置費補助金交付事業						新規・継続	継続
								ソフト・ハード	ソフト
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	VII-20-48 ゴみの適正処理・減量化の推進							
	関連施策名(施策コード)								
基本項目	事業内容(経緯)	家庭から排出される生ごみの自家処理を促進するため、生ごみ処理容器を購入・設置した家庭を対象に補助金の交付を行っています。交付額は、購入額の1/2(電動式は20千円/基、電動式以外は2千円/基が上限)です。							
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値
					H25	H26	H27		
		① 生ごみ処理容器補助金交付広報	市報掲載回数	回	2	2	4	4	5
		② 生ごみ処理容器啓発	環境関連イベント等での啓発	回	-	-	1	2	2
	③								
	④								
	事業対象	市民	成果	平成28年度は16名19基の申請がありました。その16名に対し94千円の補助金の交付を行いました。					
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
				H25	H26	H27			
	補助基数	生ごみ処理容器設置の補助基数	基	9	16	26	19	15	

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	384						384

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		家庭から排出される生ごみを生ごみ処理容器で自家処理・堆肥化する取組は、ごみの減量及び再利用化を図る上で必要と考えます。
		A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		補助金を交付することで、生ごみ処理容器を設置する家庭が増えれば、ごみの減量化に繋がるため有効性が高いと思われます。しかし、申請者数が多くないのでごみの減量効果は少ないと考えます。ごみ減量化への意識を高めるため、継続的に市報での啓発及び環境関連イベントで啓発を努めます。
B		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		事務処理の効率化を図っていますが、人件費コストがどうしても発生してしまいます。	
	B	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	申請者を増やすために、ごみの減量化や環境負荷をかけない暮らしの意識を向上させ、当該補助事業について継続的に啓発する必要があります。			
前年度の改善案	市報での広報により啓発に努めるとともに、環境関連イベントでの啓発も行います。			
具体的な改善案	市報での広報により啓発を努めるとともに、環境関連イベントでの啓発も継続的にを行います。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	今後のごみ減量化を考えるにあたっては、生ごみ減量化や環境負荷をかけない暮らしの意識醸成を図る事が重要であり、継続して取り組むことが必要です。
------	---------------	----	--

番号	課名	グループ名
B - 12	環境課	環境

事務事業名		し尿処理事業						新規・継続	継続	
		ソフト・ハード		ソフト						
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	VII-20-48	ゴミの適正処理・減量化の推進							
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	公共下水道終末処理場の施設を使用して、臼杵地域の汲み取りし尿、浄化槽汚泥を共同処理する事業です。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	前処理施設処理量	前処理施設へのし尿等搬入量	k l	11,828	11,919	12,116	12,300	11,000
		②								
③										
④										
事業対象	市民、事業者	成果	平成37年3月31日までの公共下水道終末処理場の目的外使用延長承諾を得たことにより、し尿処理施設を新設することなく、し尿処理経費の軽減が出来ます。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	し尿処理事業にかかる経費	し尿等前処理施設の運転管理費等	円	35,106	32,077	34,731	33,236	30,000		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	37,295					77	37,218

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	衛生的で快適な生活を送るために必要です。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	適正にし尿を処理することで、衛生的で快適な生活を送ることが出来ます。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	施設の機能や能力を長期間維持させるとともに、経費の節減を図ることが出来ます。
事業の問題・課題	施設稼働後10年経過したことに伴う修繕費等経費の増加が、今後懸念される。			
前年度の改善案	適切な施設維持管理計画を策定し、効果的な施設維持管理を行います。			
具体的な改善案	必要な修繕を行いながら、効果的な施設維持管理を行います。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	臼杵地域のし尿等を適正に処理するために、継続する必要があります。
------	---------------	----	----------------------------------

番号	課名	グループ名
B - 13	環境課	環境

事務事業名		広域し尿処理事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VII-20-48	ゴミの適正処理・減量化の推進							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	野津地域のし尿処理事業は、豊後大野市との協定に基づき「白鹿浄化センター（豊後大野市）」で処理しています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	し尿処理量	豊後大野市へのし尿搬出量	k l	2,531	1,940	1,883	1,903	1,700
		②								
③										
④										
事業対象	市民、事業者	成果	効率的な事業運営により、衛生的で快適な生活を送ることができました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	広域し尿処理に係る経費	豊後大野市の白鹿浄化センター運営管理費等	円	38,118	38,570	27,994	29,302	27,000		

コスト 事業費+人件費	フルコスト (千円)	内訳	国庫補助金 (千円)	県補助金 (千円)	市債 (千円)	使用料・手数料・その他 (千円)	一般財源 (千円)
	29,592						29,592

評価の視点	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	理由	衛生的で快適な生活を送るために必要です。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	理由	適正にし尿を処理することで、衛生的で快適な生活を送ることが出来ます。
	効率性	行政資源量（特にコスト）に対し合った効果があるか A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	理由	施設の機能や能力を長期間維持させるとともに、経費の節減を図ることが出来ます。
事業の問題・課題	白鹿浄化センター長寿命化に伴う大規模施設改修が必要であり、今後経費が増加する可能性がある。			
前年度の改善案	野津地域のし尿処理について、単独又は臼杵地域への統合が出来ないか検討する。			
具体的な改善案	効率的な運営が出来るように、施設改修及び管理体制等について豊後大野市と協議を行う。			

課長評価	現状のまま継続する（継続）	理由	広域し尿処理については継続しますが、今後、豊後大野市とともに白鹿浄化センターの将来計画を見据えた検討が必要です。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
B - 14	環境課	環境グループ

事務事業名	マテリアルリサイクル推進施設事業							新規・継続 ソフト・ハード	新規 ハード	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VII-20-48	ゴミの適正処理・減量化の推進							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	平成元年から稼働していた不燃ごみ資源化設備の老朽化に伴い、平成28年度から29年度の2カ年をかけて、新たに機械設備の更新を行い、引き続き不燃ごみの減量化及び再資源化を図る事業です。主な事業費：施設整備工事費89,802千円								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
		①	資源化量(プラスチック製容器包装・ペットボトル選別圧縮保管)	処理業者引渡量	t	H25 292	H26 263	H27 352	248	306
		②	資源化量(紙類・缶及びその他金属選別圧縮、電気製品・自転車)	資源売却量	t	1,116	1,041	1,014	969	1,197
		③	資源化量(ガラス瓶・蛍光灯・乾電池)	資源化処理業者引渡量	t	240	214	224	219	251
④										
事業対象	臼杵地域の市民	成果	排出されるごみに応じて適正なリサイクル処理の推進を図ることで、資源の循環利用、限りある天然資源の消費抑制、地球温暖化防止等の環境の保全に繋がります。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
	資源化率	資源化量/ゴミ搬入量	%	H25 15	H26 14	H27 15	14	16		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	93,845		30,654		61,400		1,791

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	ゴミの減量化及び資源の有効活用を図るために、リサイクル推進は必ず必要です。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	リサイクルを推進するためには、分別作業が必要となるため、機械による分別が有効です。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	機械による分別を行うことにより、人件費の削減及び迅速な処理が可能となります。
事業の問題・課題	計画期間内に、工事が完成するように地元との同意を得ながら、適正に進行管理をする必要があります。			
前年度の改善案	-			
具体的な改善案	-			

課長評価	重点化する(重点化)	理由	資源の有効利用や地球環境の保全を目的とした事業であり、重点化して取り組むことが必要です。
------	------------	----	--